

Weekly Report

2009~2010年度



作者の言葉
我が百合丘ロータリークラブのシンボルは百合の花。地味には有る様だが、こころ多量に咲く。あちこちに見られ、小鳥も飛んで来て、知る他の花より、可愛さめ、少しも、ちがいない。それこそ、初見とて、ちると、やめ、する。この小路に、その香りを、清風は、いよいよ、清純な乙女を感じ、せよ、まっ、である。昭和五十五年春、大友五

平成22年3月23日(火)
第1530回例会
会長 田内 三和
幹事 安藤 志子
会報 関山 秀男

川崎百合丘ロータリークラブ ホームページ <http://www.kawasaki-yurigaoka-rc.jp/>

第1530回例会記録 平成22年3月23日(火) 34/45回

<点鐘> 田内会長

<ソング> それでこそロータリー

<お客様ご紹介> 田内会長
米山奨学生 康英徳君、軍事評論家 飯島孟様、
麻生警察署長 石澤邦昭様、麻生警察署 井料孝一様、
元会員 服部三男様、元会員 植松俊夫様

米山奨学生 康英徳君の奨学生卒業の挨拶がありました。また田内会長より記念品が渡されました。「この一年間お世話になり大変感謝しています。中国に来られる際には、ぜひお立ち寄りください。ありがとうございました。」



<会長報告> 田内会長

- 第2回クラブ社会奉仕委員長会議開催の件
4/20(火) 15:00 ~ メモワールプラザソシア21
小塚委員長が出席いたします。
- 「ロータリーの友」よりインターネット速報 No.420
が配信されています。
19ヶ国 8,500万人以上にポリオの一斉予防接種を
実施しました。

3. 米山梅吉記念館より、賛助会ご入会のお願い
・全国1人あたり「100円」募金運動
・お1人 年間 3,000円(1口)の会費で、賛助会員
になっていただく要請がきました。
4. 「2009 ~ 10年度」RI会長賞の件
2009年度7月から2010年度3月31日まで

<幹事報告> 安藤志子幹事

- *文書着 川崎西RC
- *その他
・3/30(火)は定款細則により休会です。お間違えのないようお願いいたします。
- ・4/6(火)はお花見例会 夜会です。
- ・4/14(水)4クラブ合同例会です。
- ・川崎多摩RCより、4/8(木)皇太子妃雅子様の妹の渋谷節子様卓話です。メイクアップにいらしてください。
- ・伊藤久史会員のご母堂様が3/17(水)にお亡くなりになりました。ご冥福をお祈りいたします。

<ニコニコ委員会> 佐々木委員

服部三男様→「お世話になります」。植松俊夫様→「今日はお世話になります」。当クラブより 田内会長→「飯島様、本日の卓話楽しみにしています」。安藤志子幹事→「飯島様、今日の卓話どうぞよろしくお祈りいたします」。大矢会員→「本日は飯島さんありがとうございます。31日から春の院展がはじまります。弟が受

第1532回	4月14日	4クラブ合同例会
第1533回	4月20日	委員会報告
第1534回	4月27日	会員卓話

※諸事情により、スケジュールは変更になる場合があります。

賞しました」。安藤登会員、安藤亨会員、服部元会員
→「交通安全キャンペーン、当たりました」。以下、
感謝をこめてニコニコへ。結城会員、鈴木会員、井
上勇会員、北島会員、中島健児会員、山崎会員、碓
井会員、山口篤会員、玉井会員、白井会員、渡邊会
員、嶋会員、中島眞一会員、井上久会員、東会員、
野島会員、山口福枝会員、伊丹会員、小塚会員、高
田会員、佐藤会員、佐々木会員。

<ロータリー財団> 渡邊委員長
内藤会員→「妻の誕生祝いのお花をありがとうございました」。

<米山奨学委員会> 安藤亨委員長
田内会長→「本年お役目終了します」。渡邊会員→
「今年度の目標を達成させていただきます」。小塚会
員→「目標達成。共にがんばりましょう」。井上久会
員→「安藤亨様、請求書ありがとうございました」。
玉井会員からもいただきました。

<出席委員会> 佐藤委員

	会員	出席	欠席	メーク	出席率
第1530回	42※	36	6		85.71%
第1529回	43※	34	9	4	88.37%

*出席免除会員1

<ニコニコ・財団・米山委員会>

	今回		累計	
ニコニコ	28件	38,000円	878件	971,000円
財団	1件	10,000円	38件	370,000円
ベネファクター	0件	0円	2件	180,000円
米山	5件	64,700円	36件	464,700円

本日のプログラム

<招聘卓話> 軍事評論家 飯島孟様(元一等陸佐)
本日は日本の安全保障と日米同盟についてお話させ
ていただきます。

幸いなことに日本は65年の永きにわたり平和を享受
しています。日本は戦争を放棄した平和な国家だから、
戦争や国防の事などを考えないというのは大きな間違
いです。平和を維持するために戦争や軍事防衛などを
正しく知り、本気で考えなければならぬのです。

国際情勢はいつ変転するかわかりません。それに備
えなければ国の安全や平和は守ることができないので

す。特に日本は核大国のロシア、著しい経済発展を背
景に核戦力の増強や装備の近代化を続ける中国、核ミ
サイルの開発を急ぐ北朝鮮に囲まれています。イデオ
ロギーや国家体制、国益の異なる国家問題が「友愛外
交」というロマンチックな言葉のレベルで解決できる
というのはとんでもない幻想です。「命を守りたい」「国
民生活の向上」と言っても、国の安全が保障されなけ
れば達成できないのです。現政権には国の安全に対処す
る意欲、危機感が感じられないように思います。

沖縄の普天間基地問題についても、日米関係がギク
シャクしていて、その関係を修復するには大変な時間
とコストを要するのではないかと思います。核兵器を
持たない選択をしている日本にとって、日米同盟が弱
体すれば極めて危険な状態になるのは明らかです。今
のような状態で信頼関係が崩れると、核軍縮や北朝鮮
や中国などへの対応で、日米が協力を通して追及す
べき日本の国益は損なわれていきます。それは東アジア
の不安定化にも向かうのです。

鳩山政権は「緊密で対等な日米同盟を目指す」「日米
同盟は防衛の機軸」と言っていますが、具体的には何ひ
とつ伝わってきません。国家の安全保障には確固たる
信念を持って取り組む必要があります

「治に居て乱を忘れず」「国、大なりといえども戦を好
めば滅びる。国、安しと言えども戦を忘れれば、その
国は必ず危うし」という先人の箴言を為政者は忘れても
らいたくないものです。

